


分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 66
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	各種団体・ サークル等活動支援事業		会計	款	項	49,500	中央公民館
			一般	10	4		
事業の概要							
地域の文化力向上のためには、市民の自主的な学習と団体の活動が不可欠です。活発化された活動が地域に還元されることにより、地域全体の文化振興とコミュニティ活動の促進につながるため、社会教育施設としての中央公民館を拠点として活動するサークルや団体の活動を推進します。							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	公民館登録サークルの市民参加人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3,437 (平成26年度)	目標	3,480	3,510	3,880	3,910	3,940
		実績	3,818	4,056	4,140	4,375	3,743
	指標	公民館(社会教育ホール)利用者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
79,916 (平成26年度)	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	
	実績	67,825	73,712	77,865	80,032	30,265	
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館サークル連絡協議会(略称:公サ連)の会員が中心となり、市民ギャラリーの作品展示やオープンハウスを利用したサークル加入のための啓発活動を実施しました。 ・公サ連活動に焦点をあてたチラシを作成し、会員等への配布、公共施設での配架、広報板への掲示を行った他、オープンハウス実施時には若い世代を取り入れるためFacebookに記事の投稿を行うなど、サークルの会員数増加に向けた広報活動を実施しました。 ・備考: R2. 4. 6~5. 31貸館休止 R3. 1. 16~2. 28夜間貸館休止 					公サ連紹介チラシ		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			主な社会教育施設の利用者数	令和元年度末から新型コロナウイルス感染症により利用者数が減少しており、令和2年度も大幅な減少となりました。
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況 ・令和2年度は団体登録の更新のタイミングでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により登録サークルの利用者も減少したこと、また、更新をしない団体があったことも影響し、公民館登録サークルの市民参加人数は3,743人(サークル会員の市内構成員数)となりました。令和元年度と比べると632人減であり、目標値も下回る結果となりました。公民館利用者数についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館休止や各部屋の定員を約半数にしたため、目標値の37.8%にとどまる結果となりました。	
	課題等		・新型コロナウイルス感染症等の影響下においても、可能な範囲で対応することが必要となっています。 ・サークルが公サ連に加入することで、サークル間の相互交流ができたり、発表の場ができ、中央公民館で定期的に継続して活動することに繋がります。しかし、登録団体や登録人数に対して、公サ連への加入割合は低く、会員数も減少傾向にあります。また、公サ連に限らず全体的に高齢化が進んでおり、若年層が少ないことが課題です。	

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・現行制度を時代に即したのものになるよう見直しを検討するなど、状況に応じて迅速かつ柔軟に対応していきます。 ・会員との意見交換等により公サ連に対する支援を行い、サークル会員増加に向けた取り組みを推進し、若年層に向けた広報活動を実施します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 67
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	公民館定期講座開設事業		会計	款	項	1,177,862	中央公民館
			一般	10	4		
事業の概要							
地域の文化振興と生活向上のためには、生涯学習環境の充実が必要です。市民の自主的・主体的な学習意欲の喚起を図るために、市民の多様な学習ニーズに対応し、ライフステージや現代的課題に即した学習機会や学習情報の提供、相談体制を充実します。							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	公民館講座の参加率(参加予定者数÷定員数)				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	90.4	90.8	93.5	93.7	93.9
	89.8(平成26年度)	実績	93.1	93.3	91.7	93.9	57.0
<ul style="list-style-type: none"> ・各世代のニーズや課題に応じた各種講座として、青少年教育(少年少女発明クラブ11回)、男女共同参画(男女共同参画講座1回、多文化共生子育て講座1回)、高齢者教育(熟年生き生き講座9回)、家庭教育(びよびよクラブ8回、子育てふれあいルーム70回、家庭教育講座2回)、福祉教育(聴覚言語障がい者学級1回)を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月と5月は全ての公民館講座を中止しましたが、6月以降は感染拡大防止対策を徹底しながら、講座の開催に努めました。 ・29年度に試行、30年度から本格的に実施した市民企画講座を2年度も実施しました。総合計画から抽出したテーマに沿って、市民自らが講師となり37企画102回に達しました。講座数が多いことから実施予定の講座一覧(3か月単位)のチラシを作成し、実施時期や内容が一目で分かるようにしました。(なお、市民企画講座は29年度から実施している講座のため上記参加率には含めていません。) 					聴覚言語障がい者学級		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和2年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—			—	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、熟年いきいき講座の参加率が51.6%となったことが大きく影響し、参加率は目標値を下回る結果となりました。一方、参加者からは、コロナ禍においても学習の機会があることを喜ぶ声が多く寄せられています。 ・講座終了後に参加者へのアンケート調査を実施し、講座の効果等を測定しています。アンケートの集約結果を講師に速やかに返すことにより、各回の講座に反映させています。アンケート結果では、参加者の満足度は80%~100%となっており、市民の学習ニーズを的確にとらえた講座を実施することができています。 ・コロナ禍への対応として、一部リモート講座を開催しました。 		
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加率は、選択肢が増えた分、講座によってばらつきがあります。 ・高齢者世代や子育て世代の参加率は高いものの、働き世代の参加率が低いことが課題です。 				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、アンケート結果や公民館運営審議会の意見をもとに、市民のニーズ把握に努め、講座時期や内容を精査し、市民の実生活に即した講座を企画していきます。 ・働き世代の参加率向上に向けて、土曜日日曜日の他、一定のニーズがある夜間にも講座を実施することを検討します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 68
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	中央生涯学習センター 管理運営事業		会計	款	項	目	83,432,000	生涯学習課
			一般	10	1	5		
事業の概要								
市民の自主的・自発的な生涯学習活動の場として、中央生涯学習センターを管理運営します。								


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	中央生涯学習センター貸室利用率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	48.0	48.5	50.0	50.0	50.0
		実績	51.9	50.5	51.7	48.7	26.8
<p>・中央生涯学習センターの管理運営は、指定管理者である大阪ガスビジネスクリエイト株式会社に委任しています。</p> <p>・指定管理者の自主事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や縮小したものが多くありました。時期や内容を考慮し、感染対策を充分に行ったうえで、バンビオ展示ウィーク、文学講座、バンビオ15周年記念ノスタルジックな音楽の旅、各種講座などを行いました。</p> <p>・生涯学習機関紙「be→!」やホームページでのイベント情報の掲載など、さまざまな方法で情報発信を行いました。</p>					<p>バンビオ15周年記念ノスタルジックな音楽の旅</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	主な社会教育施設の利用者数		令和元年度末から新型コロナウイルス感染症により利用者数が減少しており、令和2年度も大幅な減少となりました。	202
		B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・貸室利用率は、新型コロナウイルス感染症対策のための休館や利用制限、イベントの自粛要請等により、平時を想定した目標達成には至りませんでした。年間を通じて利用率増加に向けた様々な取り組みを行いました。</p> <p>・自主事業「みんなの自習室」や「みんなの音楽練習室」は一定の利用者を確保しており、メインホールの利用率向上に貢献しました。「染ラボ」、「映像で遊ぶ会」、「金継ぎワークショップ」などの小規模の講座を実施し、生涯学習活動や施設利用の機会を創出することができました。</p>	
課題等			<p>・引き続き、国、府、市の基準に沿って新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みを継続する必要があります。貸室利用率などに大きな影響を及ぼすことが予想されます。</p> <p>・新たな生活様式に基づく貸館運営のあり方について、リモート講座や研修など、利用者のニーズを捉えながら、指定管理者と協議し進めていく必要があります。</p>		

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1:計画通りに進めることが適当</p> <p>・コロナ禍で生涯学習の機会が減るなか、施設消毒など感染対策を継続し、安心して使用してもらえる施設管理を行っていきます。また時期を見て、講座などを実施し生涯学習、施設利用のきっかけづくりを行っていきます。</p>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 69
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	図書館サービスの推進・充実		会計	款	項	29,054,235	図書館
			一般	10	4		
事業の概要							
<p>市民の教養と文化の発展のため、全ての住民の読書を通じた生涯学習の中核施設である図書館資料を充実するため、図書の計画的な入れ替えを図って行きます。特に読書意欲の醸成を行うには幼少期から図書に親しむことが大切であることから、「えほんのひろば」「子どもの広場」等幼少期から本に親しむ事業を展開しながら、特徴の一つである児童書の充実を図って行きます。</p> <p>また、市民に利便性の高い図書館サービスの充実を図っていくため、開館時間の延長・ブックポストの増設・図書館に来ることができない高齢者・障がい者に対しての図書の宅配サービス等を図書館の運営形態の在り方をも含め検討を行います。</p>							

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	図書館図書貸出冊数				単位	冊
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	410,400 (平成26年度)	目標	426,000	432,000	438,000	444,000	450,000
		実績	422,928	429,450	425,030	409,006	385,851
<p>・コロナ禍において4/19～5/11の期間は休館し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として行事を中止しましたが、8月以降は読書啓発事業を再開しました。新規事業として、市民有志による小さなテーマ展示「ひとはこライブラリー」、本の紹介イベント「いい本みつけ!」、中高生が自分たちで本棚を作り上げる「ぼくらの本棚(仮)」、滞在時間を短縮しつつ普段自分では選ばない本に出会える企画「わくわくぶくろ(本の福袋)」や、書評を通じたコミュニケーションゲーム「ビブリオバトル」等のイベントを新たに行いました。</p> <p>・本市のPR及び読書啓発のため、本市も舞台となった大河ドラマ「麒麟がくる」に関する歴史分野のテーマ展示と読書講演会を行いました。</p> <p>・子どもの人権に視点を置いた児童文学作者村上しいこ氏の読書講演会を行いました。</p> <p>・図書館利用困難者に図書の宅配・回収を行う「アウトリーチサービス」を継続して行いました。</p>					<p>ひとはこライブラリー</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の学習意欲を満たすと思われる分野を研究し、情報の新鮮さ・信用性を精査した上で資料の収集・除籍を行い、蔵書構成を充実させました。 ・既存の読書講演会、おはなし会その他、本に関心を持つきっかけづくりのイベントを増やし、読書啓発事業に力を入れました。利用者の感想・アンケート等の結果は好評でした。 ・図書館利用困難者へのアウトリーチサービスとして7回自宅訪問し、16冊貸出しました。また、2名の新規登録者があり、アウトリーチサービス登録者は総計3名となりました。 ・コロナ禍のため対面朗読サービスは休止しました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習および情報収集におけるデジタル媒体の活用が浸透し、社会的に本ばなれが進んでいます。 ・幼児等を連れた保護者と高齢者の利用が多く、中学生から働く世代の利用者が少ない傾向があります。幼少期から学童期のみならず、思春期、青年期における継続的な読書習慣を醸成する取り組みが必要です。 ・アウトリーチサービス利用者が増加した場合に対応できる仕組みづくりが必要です。 			

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
方向性	
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市内で読書啓発に関わる活動を行っている団体や市役所内の各部署と協力・連携しながら更なる読書啓発事業を展開していきます。また、新たな協力者、協働の主体を発掘するため、情報発信を行い図書館事業への協力を求めて働きかけます。 ・今まで図書館を利用していない人にも図書館・読書に関心を持ってもらえる行事や広報を検討し、実施します。